

現代図書館学講座

別卷

資料目録法・資料分類法・ 参考業務演習

林 收正

中村泰正

長谷川宏

現代図書館講座

別卷

資料目録法・資料分類法・ 参考業務演習

共著 林 收正

中村泰正

長谷川宏

現代図書館学講座 別巻

**資料目録法・資料分類法・
参考業務演習**

昭和58年12月1日 第1版第1刷発行

検 印
省 略

著 者 林 収正 中村泰正 長谷川宏

発行者 東京書籍株式会社

代表者 小高民雄

印刷者 東京書籍印刷株式会社

代表者 鹿島 博

東京都北区堀船1丁目23番31号

発行所 東京書籍株式会社

東京都台東区台東1丁目5番18号(〒110)

2300-584012-5313

定価1500円

©, Shyusei Hayashi, 1983

Printed in Japan

現代図書館学講座 別

資料目録法・資料分類法・参考業務演習

裁丁 万册 宽

は し が き

図書館職員の養成は、図書館法及び図書館法施行規則(昭和25年)の制定によって文部省委嘱による司書講習・司書補講習を始めとして、大学において図書館学科や司書課程を設け、司書・司書補を養成している。

図書館法令は昭和25年に制定されて以来、現在まで幾度か改正されてきたが、図書館職員の養成に関しては、18年後の昭和43年3月29日文部省令第5号によって図書館法施行規則が一度改正されている。

この改正によって、司書講習の科目の編成が新しくなると共に単位数も増加した。そこで本書で扱う演習を伴う科目については、

- ① レファレンス・ワーク(1単位)が参考業務(2単位)と参考業務演習(1単位)に、
- ② 図書目録法(2単位)が資料目録法(2単位)と資料目録法演習(1単位)に、
- ③ 図書分類法(1単位)が資料分類法(2単位)と資料分類法演習(1単位)に、

改正され、図書館業務における演習の重要性が強調されたのである。

司書課程の科目編成は、この司書講習の科目編成に準拠しているために、昭和44年度からは演習科目が3科目(3単位)増加し、授業を行っているのである。

しかるに、これらの演習に関する図書の刊行は少なく、理論書には付録的な扱いの演習資料がつけられている程度である。司書課程の演習時間は司書を養成するには短いものであり、それだけに教材の選択には慎重にならざるを得ないのである。

また、公共図書館において重要だとされる業務に郷土資料の収集・

整理・保管及び提供がある。現行の授業科目(省令による)は、資料整理法特論で郷土資料について講義を行っているが、郷土資料のなかでも大切な資料に古文書がある。しかし、1～2単位程度の授業時間では古文書まで講義する時間がなく、講義しても十分に理解するまでにはいかないと聞いている。

古文書に関する図書は、歴史学から述べられた書は刊行されているが、図書館学から述べられているものはないように思う。そこで演習が必要とされる科目のひとつとして、近世文書の整理法の稿を加えたのである。

本書の執筆は、資料目録法演習及び参考業務演習を林收正、資料分類法演習を中村泰正、近世文書整理法を長谷川宏が分担執筆し、初心者に対して最も親切に要点を述べ、司書課程及び図書館におけるインサービス・トレーニングの教材として編集したものである。

最後に本書の上梓に当たり協力下さった片岡百合子、武石規子両君及び何かとお世話下さった東京書籍出版編集部小山康栄氏、プロダクション匠古野幹雄氏に対して心からお礼を申し上げます。

昭和58年7月20日

林 收 正

目 次

資料目録法演習	7
はじめに／目録カード記入例／演習問題 I ／演習問題 II	
資料分類法演習	67
はじめに／演習問題	
参考業務演習	121
はじめに／公共図書館におけるレファレン ス・インタビュー／大学図書館におけるレ ファレンス・インタビュー／回答事務のプ ロセス／演習問題／二次資料の作成法	
近世文書整理法演習	173
はじめに／受入／分類／目録／演習問題/ 演習問題解題	

資料目録法演習

はじめに

資料目録法の知識は、資料の組織化のみに有効なものではなく、資料の収集に際しても出版物から自館に適した資料を検索するにも必要であり、レファレンス・サービスにおいて最も重要なものである。

そこに、目録法は図書館学の基礎知識だと称せられるいわれがある。専門職員として図書館業務を遂行するには、目録法の知識を十分に蓄積していないと業務に障害をきたすことになる。したがって、他の科目との関連のもとにこの知識を身につけておくべきである。

目録係は収集した資料を迅速に組織して利用者に提供する義務がある。しかし、目録の機能を忘れてはならない。その目録に誤記があったり、また目録体系から外れるような目録を作成することは許されないもので、あくまでも正確でなくてはならない。そのためにも常に目録作成に必要な規則類や参考資料について調査を怠ることはできないのである。

目録は目録利用者に見せるために作成するものであり、それもその資料が除籍されるまでの長い期間にわたるものであるから、手書きによる目録作成には特に字体を統一する必要がある。

図書は目録規則に合わせて刊行されるものではないのであるから、条文をその図書に合わせなければならない。それには、一個人または一団体の著作か、多数著者による著作か、既存の図書に他人が何かを加えた著作か、または種々の形式の著作かどうか、分析してそれに適合した条文を選ばなければならない。これは多くの図書を経験することによって体得するものであるから、ふだんの心得が大切になってくるのである。

次に各種の目録カード上の記載位置を示しておく。

三段式の記入方式(著者記入)

標	目	
書	名	卷 次
著	者 表 示	版 表 示
	出 版 事 項	
	対 照 事 項	叢 書 注 記
	一 般 注 記	
内	容 細 目	

三段式の記入方式(書名記入)

書	名	卷 次	著 者 表 示
版	表 示		
	出 版 事 項		
	対 照 事 項	叢 書 注 記	
	一 般 注 記		
内	容 細 目		

新版・予備版の記入方式

書	名	卷 次
著	者 表 示	
出	版 事 項	
対	照 事 項	叢 書 注 記
注	記	

二段式の記入方式(著者記入)

標	目	
書	名	卷 次
著	者 表 示	版 表 示 出 版 事 項
	対 照 事 項	叢 書 注 記
	一 般 注 記	
内	容 細 目	

書 名 卷 次
 著 者 表 示
 版 表 示 出 版 事 項
 対 照 事 項 叢 書 注 記
 一 般 注 記
 内 容 細 目

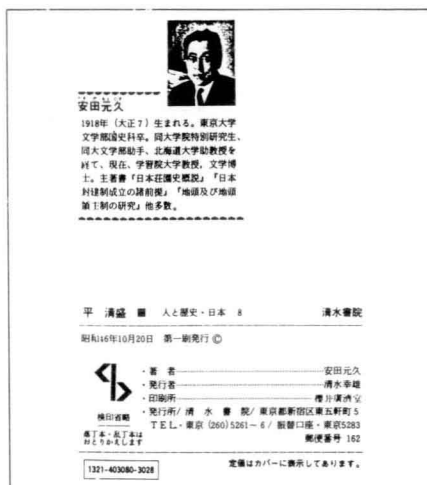
二段式の記入方式(書名記入)

標 目
 書 名 卷 次
 著 者 表 示 版 表 次 出 版 地
 出 版 者 出 版 年
 頁 数 図 版 大 き さ 叢 書 注 記
 一 般 注 記
 内 容 細 目

二段式の記入方式(洋書の著者記入)

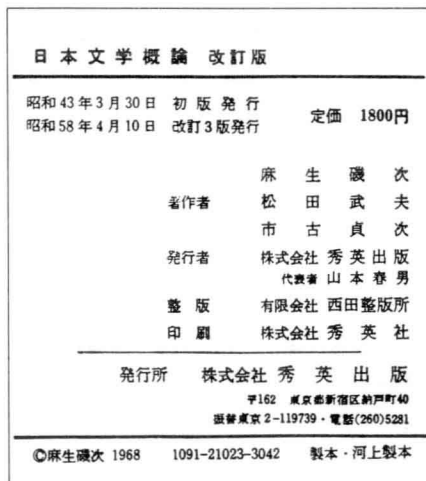
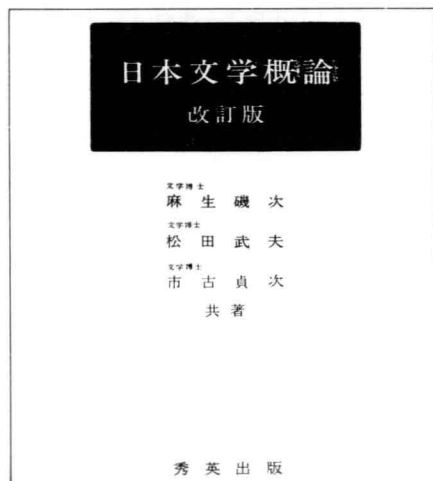
1.

〔記入例〕



図版2枚。本文207ページ(図版を含む)。平清盛年譜がp. 208～215, 参考文献がp. 216～217についている。大きさ19cm。

2.



前付10ページ。本文236ページ。研究文献がp. 237～244, 日本文学年表がp. 245～256についている。大きさ21.7cm。

NCR 1965年版(三段式)

安田 元久

平 清盛 権勢の政治家と激動の歴史

東京 清水書院 昭和46

217 p (図共) 図2枚 19cm (人と歴史シ

リーズ 日本 8)

平清盛年譜 p 208-215, 参考文献 p 216-217

1. 平清盛 I 書名 II 叢書名

【注】図などが本文のページ付に含まれている場合の記載方法。

適用条文：標目12条，書名・副書名90条，出版地109条，出版者113条，出版年119条 頁数126条，図132条，大きさ133条，叢書注記136条，内容細目139条。

NCR 新版 予備版

平 清盛 権勢の政治家と激動の歴史

安田元久著

東京 清水書院 1967

217 p 図版 19cm (人と歴史シリーズ 日本8)

平清盛年譜 p 208-215, 参考文献 p 216-217

【注1】出版年を西歴紀年で記載する。

【注2】図などが本文のページ付に含まれている場合は記載しない。

適用条文：書名2.2.1.1条，副書名2.2.2条，著者表示2.2.4.1条，出版地2.4.1.1条，出版者2.4.2.1条，出版年2.4.3.1条，頁数2.5.1.1条，図版2.5.1.5条，大きさ2.5.3.1条，叢書名2.6.1条，年譜2.7.8.3条。

NCR 1965年版

【注】版表示の記載位置，特定の版に関係を持つ改訂者との記載位置の違い。

麻生 磯次

日本文学概論 麻生磯次 松田武夫

市古貞次共著 改訂版

東京 秀英出版 昭和58

10,264 p 22cm

研究文献 p 237-244, 日本文学年表 p 245-256

I 松田武夫 II 市古貞次 III 書名

適用条文：標目42条，書名90条，著者表示99条，版表示107条，出版地109条，出版者113条，出版年119条，頁数126条，大きさ133条，内容細目139条。

NCR 新版 予備版

【注】この規則では3人以上が多数著者として，最初の著者またはおもな著者1人だけを記載し，他は省略する。

なお，1965年版は4人以上を多数著者として扱い，[等]を補記する。

日本文学概論 麻生磯次 [ほか] 著

改訂版

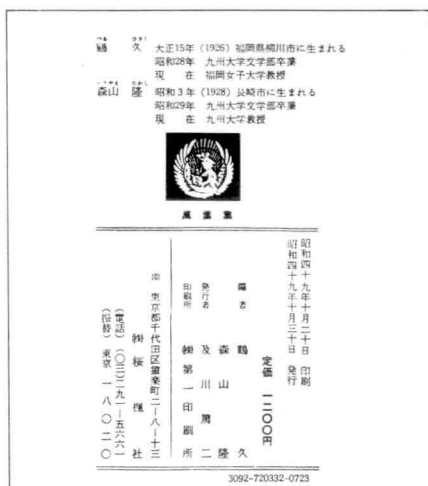
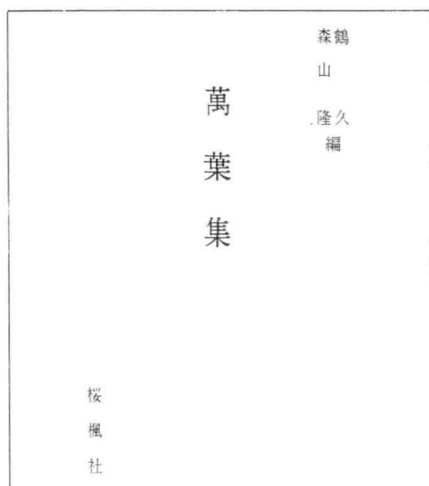
東京 秀英出版 1983

10,264 p 22cm

研究文献 p 237-244, 日本文学年表 p 245-256

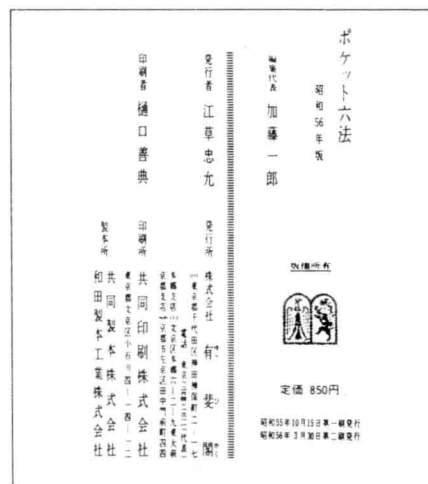
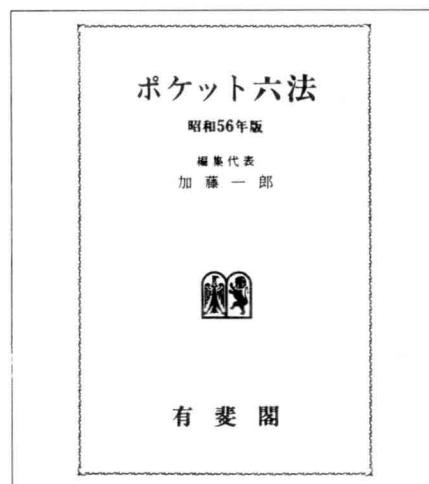
適用条文：書名2.2.1.1条，著者の省略2.2.4.5条，版次2.3.1.1条，出版地2.4.1.1条，出版者2.4.2.1条，出版年2.4.3.1条，頁数2.5.1.1条，大きさ2.5.3.1条，書誌2.7.8.3条。

3.



本文641ページ。大きさ21.6cm。底本は西本願寺本。

4.



本文894ページ。大きさ17.1cm。

14